

平成26年度 第1回

受注登録企業動向調査結果報告書

<概要>

前回調査での見通しのとおり、受注量について減少の傾向がみられた。しかしながら、次期受注量の見通しは増加との見込みをしているほか、他の調査項目についてもDI値の前期差はプラスとなっており、引き続き改善の傾向が見られた。

<今回調査の特徴>

- 受注量：精密機器、樹脂製品で大きく受注減が顕著。
- 受注見通し：全業種で改善の見通し。特に金属製品、電気機器で増加。
- 受注単価：「上昇」「低下」とも微減でほぼ変わりなし。厳しい状況は変わらず。
- 資金繰り：電気機器で唯一「悪化」も全体としては改善傾向。
- 採算状況：資金繰り同様改善の傾向。
- 受注余力：「余力あり」76.0%。電器機器、精密機器で9割近くが「余力あり」

(平成26年6月末現在)

公益財団法人 京都産業21

1. 調査概要

(1) 調査目的

受注登録企業の受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせんの円滑化を図る。

(2) 調査対象企業

当財団に登録している受注企業 285企業

業種別内訳（産業分類 中分類）

| | | | |
|-----------|------|----------|------|
| ① 鉄鋼・非鉄関係 | 35企業 | ② 金属製品関係 | 45企業 |
| ③ 一般機器関係 | 45企業 | ④ 電気機器関係 | 45企業 |
| ⑤ 輸送用機器関係 | 35企業 | ⑥ 精密機器関係 | 40企業 |
| ⑦ 樹脂製品関係 | 40企業 | | |

(3) 調査時点

平成26年6月30日現在

(4) 調査方法

調査票の郵送によるアンケート方式

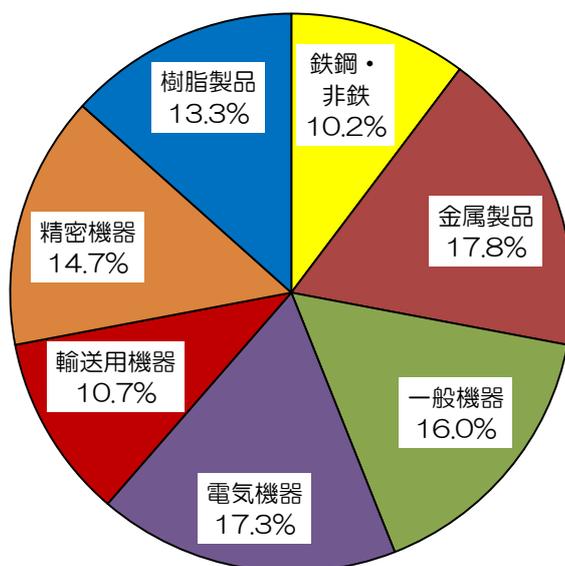
調査項目（受注量、受注量の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力）

(5) 回収状況

| | | | |
|-----------|---------|-------|-----------|
| ① 調査対象企業数 | 285 企業 | | |
| ② 回収企業 | 225 企業 | | |
| ③ 内訳 | | | |
| | 鉄鋼・非鉄関係 | 23 企業 | (10.2%) |
| | 金属製品関係 | 40 企業 | (17.8%) |
| | 一般機器関係 | 36 企業 | (16.0%) |
| | 電気機器関係 | 39 企業 | (17.3%) |
| | 輸送用機器関係 | 24 企業 | (10.7%) |
| | 精密機器関係 | 33 企業 | (14.7%) |
| | 樹脂製品関係 | 30 企業 | (13.3%) |
| ④ 回収率 | 78.9 % | | |

2. 回答企業の概要

(1) 業種別回答企業の内訳



(2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位：社)

| | 全 体 | 鉄鋼・非鉄 | 金属製品 | 一般機器 | 電気機器 | 輸送用機器 | 精密機器 | 樹脂製品 |
|-------------|--------------|------------|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|
| 個人 | 5 2.2% | 2 8.7% | | | 1 2.6% | | 1 3.0% | 1 3.3% |
| ~300万円 | 18 8.0% | 1 4.3% | 3 7.5% | | 2 5.1% | 5 20.8% | 3 9.1% | 4 13.3% |
| 301~999万円 | 13 5.8% | 1 4.3% | 3 7.5% | 1 2.8% | 1 2.6% | 2 8.3% | 2 6.1% | 3 10.0% |
| 1000~2000万円 | 126 56.0% | 9 39.1% | 28 70.0% | 21 58.3% | 24 61.5% | 8 33.3% | 19 57.6% | 17 56.7% |
| 2001~5000万円 | 45 20.0% | 6 26.1% | 6 15.0% | 12 33.3% | 8 20.5% | 4 16.7% | 5 15.2% | 4 13.3% |
| 5000万円超 | 18 8.0% | 4 17.4% | | 2 5.6% | 3 7.7% | 5 20.8% | 3 9.1% | 1 3.3% |
| 合 計 | 225 100% | 23 100% | 40 100% | 36 100% | 39 100% | 24 100% | 33 100% | 30 100% |

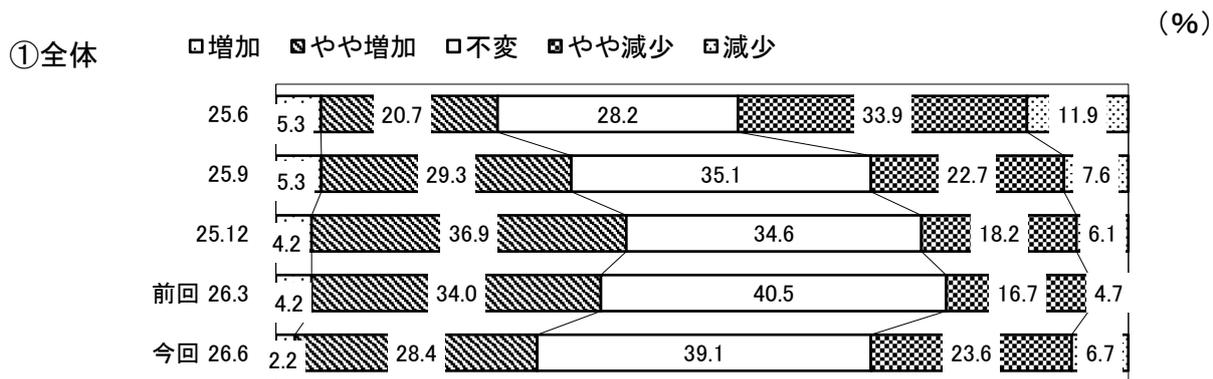
(3) 業種別・従業員別回答企業数

(単位：社)

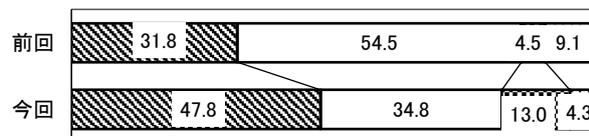
| | 全 体 | 鉄鋼・非鉄 | 金属製品 | 一般機器 | 電気機器 | 輸送用機器 | 精密機器 | 樹脂製品 |
|--------|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|-------------|
| 1~5人 | 19 8.4% | 6 26.1% | | 2 5.6% | 3 7.7% | 4 16.7% | 1 3.0% | 3 10.0% |
| 6~10人 | 29 12.9% | 5 21.7% | 4 10.0% | 1 2.8% | 3 7.7% | 5 20.8% | 7 21.2% | 4 13.3% |
| 11~20人 | 62 27.6% | 1 4.3% | 15 37.5% | 13 36.1% | 9 23.1% | 4 16.7% | 9 27.3% | 11 36.7% |
| 21~30人 | 38 16.9% | 3 13.0% | 11 27.5% | 7 19.4% | 5 12.8% | 3 12.5% | 5 15.2% | 4 13.3% |
| 31~50人 | 32 14.2% | 5 21.7% | 5 12.5% | 6 16.7% | 5 12.8% | 1 4.2% | 5 15.2% | 5 16.7% |
| 51人以上 | 45 20.0% | 3 13.0% | 5 12.5% | 7 19.4% | 14 35.9% | 7 29.2% | 6 18.2% | 3 10.0% |
| 合 計 | 225 100% | 23 100% | 40 100% | 36 100% | 39 100% | 24 100% | 33 100% | 30 100% |

3. 調査結果

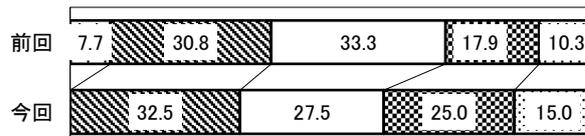
(1) 受注量について



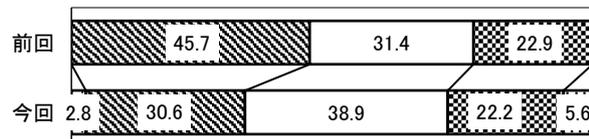
②鉄鋼・非鉄



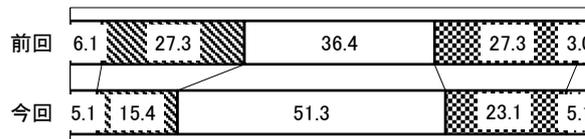
③金属製品



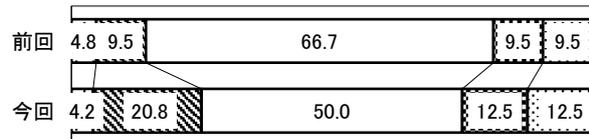
④一般機器



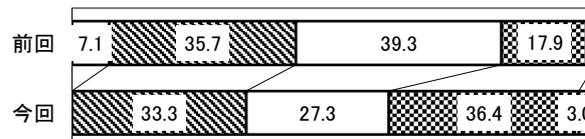
⑤電気機器



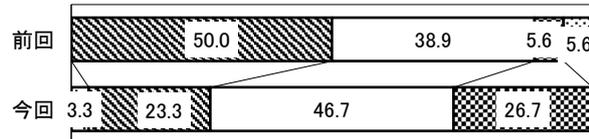
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

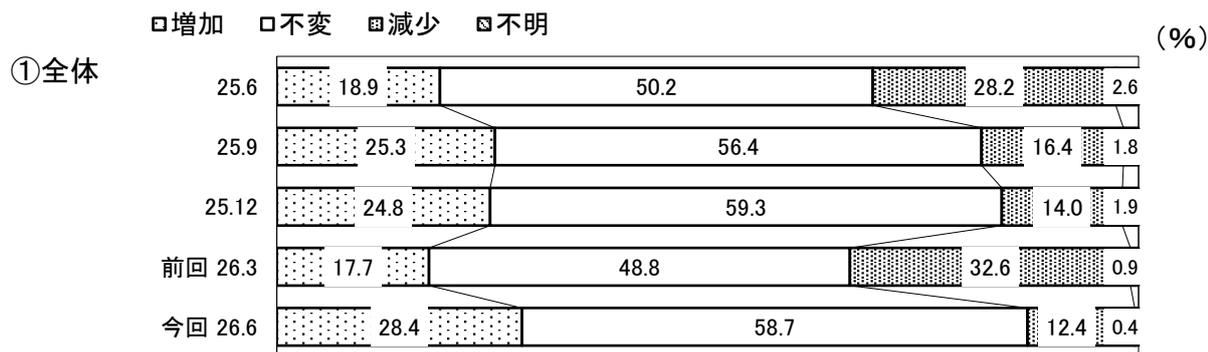
4月～6月期の全体の業況判断D I（「増加」及び「やや増加」と回答した企業の割合から「減少」及び「やや減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は0.3となり、前期（1月～3月）に比べ16.5ポイント悪化の傾向が見られる。

○業種別

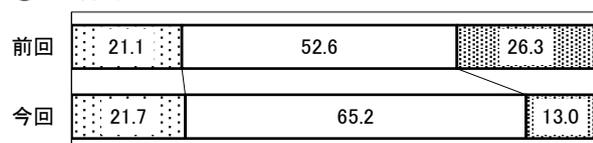
業種別D Iでは、樹脂製品で前回50.0%あった「増えた」が今回は26.6%と大きく減り、逆に「減った」とする企業が11.2%から26.7%と増えて△0.1（前期差△38.9ポイント）と大きく悪化が見られる。精密機器でも△6.1（前期差31.0ポイント低下）と大幅な悪化が見られる。

一方、鉄鋼・非鉄で「増えた」が前回の31.8%から47.8%に増えて30.5（前期差12.3ポイント）と改善が見られる。

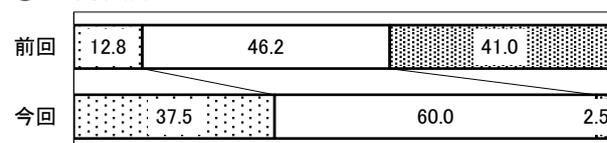
(2) 受注量の見通しについて



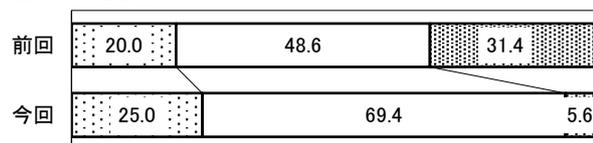
②鉄鋼・非鉄



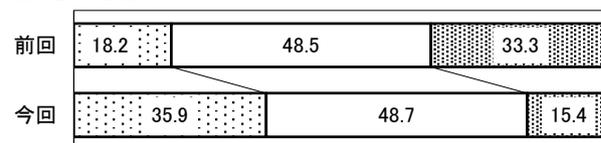
③金属製品



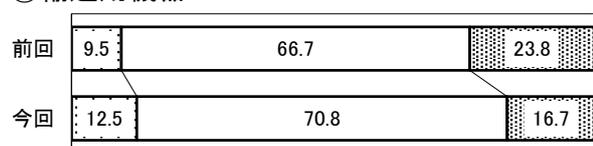
④一般機器



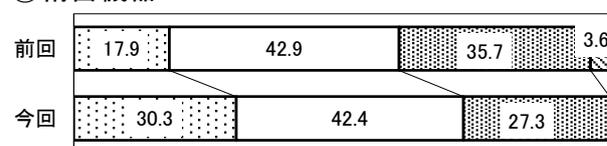
⑤電気機器



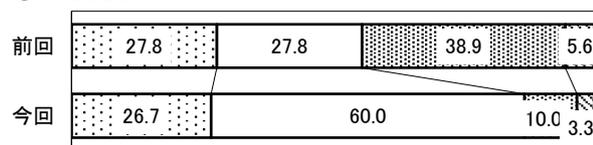
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



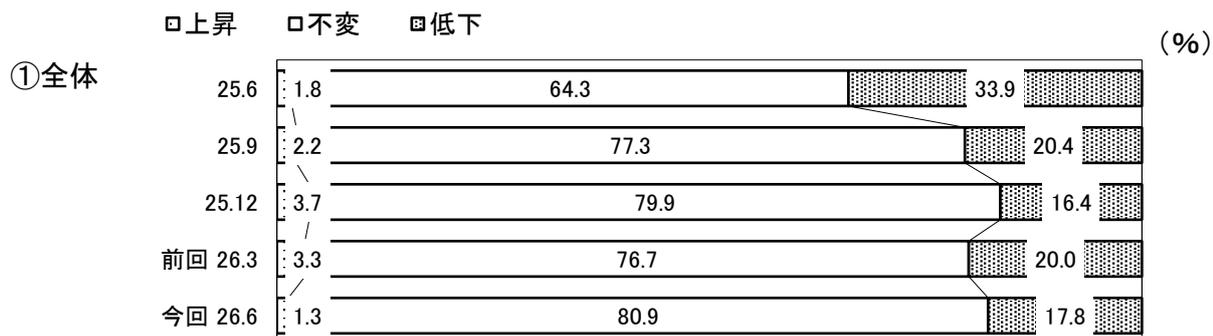
○全体

次期（7月～9月期）受注量見通しの全体の業況判断D I（「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は16.0となり、前回（4月～6月）に比べ30.9ポイント改善の見通しとなっている。

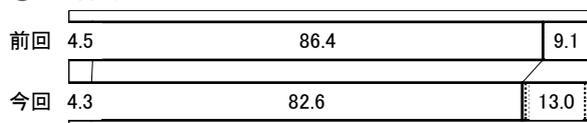
○業種別

業種別D Iは、特に金属製品で「増加」37.5%に対して「減少」が2.5%と少なく、35.0（前期差63.2ポイント上昇）と大きく改善の見通し。電気機器でも20.5（前期差35.6ポイント上昇）、一般機器で19.4（前期差30.8ポイント上昇）と大きく改善の見通しであるほか、全業種で改善の見通しとなっている。

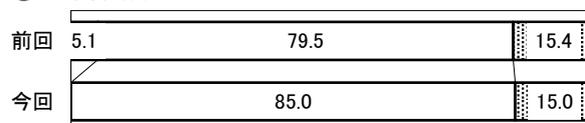
(3) 受注単価について



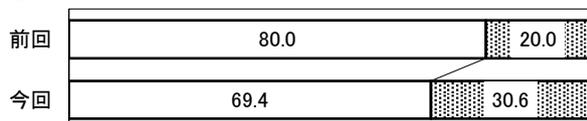
②鉄鋼・非鉄



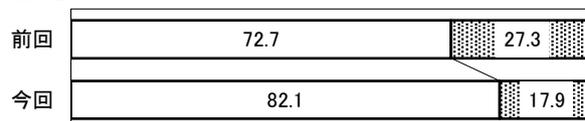
③金属製品



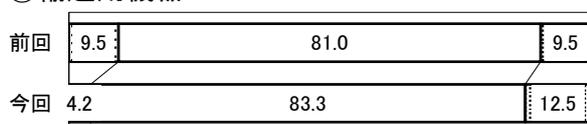
④一般機器



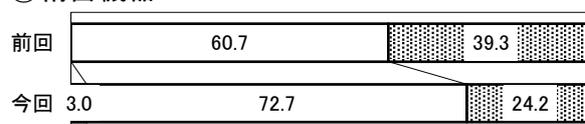
⑤電気機器



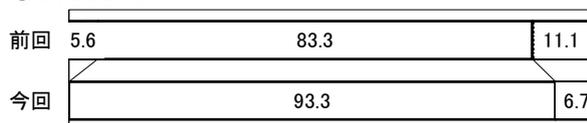
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

4月～6月期の全体の業況判断DI（「上昇」と回答した企業の割合から「低下」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は「上昇」「低下」とも微減であったが、△16.5（前期差0.2ポイント上昇）でほぼ前期（1月～3月）と同じ結果となった。

○業種別

業種別DIは、前回調査で「低下」の回答が目立った精密機器であるが、△21.2（前期差18.1ポイント上昇）と改善が見られるほか、電気機器でも△17.9（前期差10.6ポイント上昇）と改善が見られる。

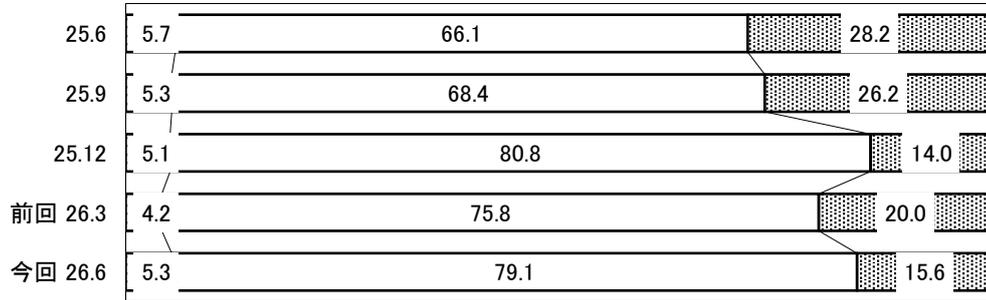
一方、一般機器では「上昇」の回答はなく△30.6（前期差10.6ポイント低下）と非常に厳しい状況である。

(4) 資金繰りについて

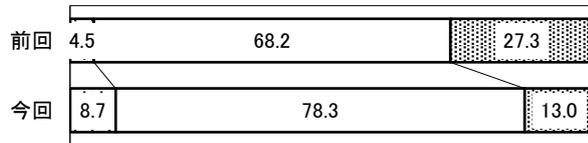
(%)

①全体

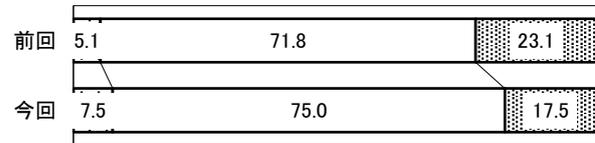
□好転 □不変 □悪化



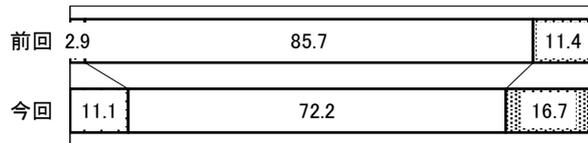
②鉄鋼・非鉄



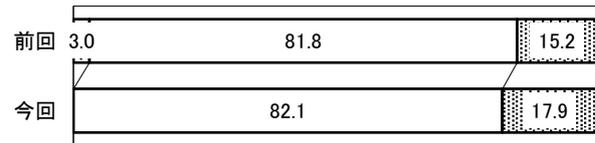
③金属製品



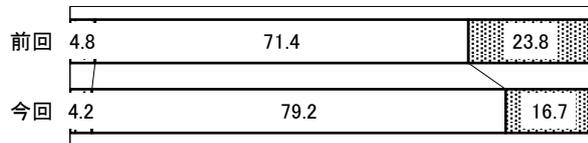
④一般機器



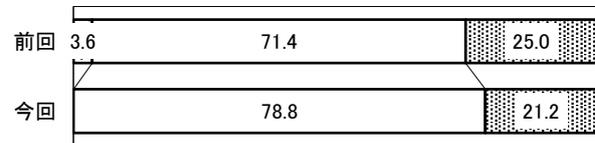
⑤電気機器



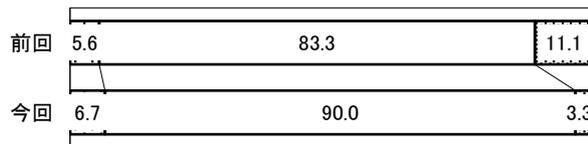
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

4月～6月期の全体の業況判断DI（「好転」と回答した企業の割合から「悪化」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は、△10.3で前期差5.5ポイント上昇と若干の改善が見られる。

○業種別

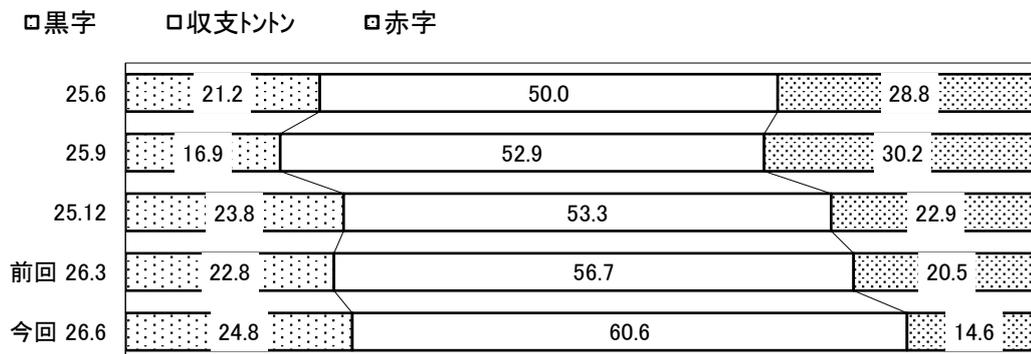
業種別DIは、前回大きく悪化が見られた鉄鋼・非鉄で△4.3（前期差18.5ポイント上昇）と改善が見られる。

電気機器では、△17.9（前期差5.7ポイント低下）と唯一の悪化となっている。

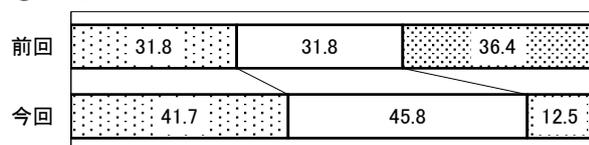
(5) 採算状況について

(%)

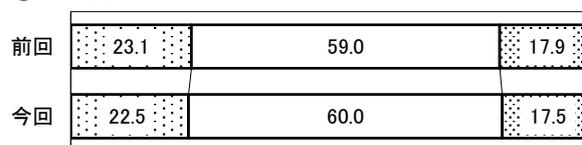
①全体



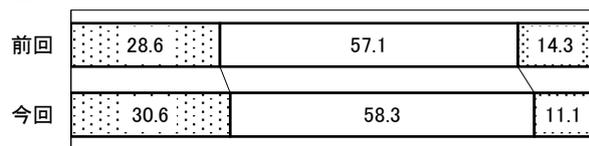
②鉄鋼・非鉄



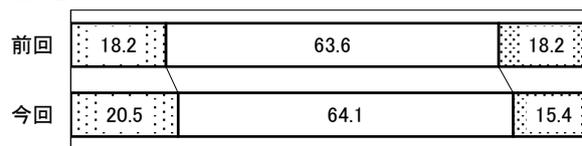
③金属製品



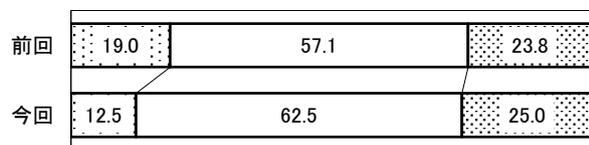
④一般機器



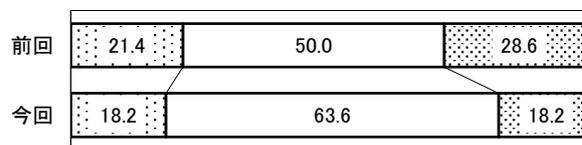
⑤電気機器



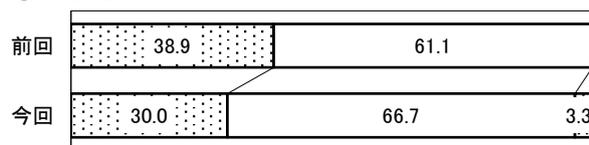
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

4月～6月期の全体の業況判断DI（「黒字」と回答した企業の割合から「赤字」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は10.2となり、前期（1～3月）に比べて7.9ポイント上昇と改善が見られ、「赤字」の回答企業も徐々に減少している。

○業種別

業種別DIは、前回「赤字」が36.4%を占めた鉄鋼・非鉄であるが12.5%に減少、「黒字」の回答も増えて29.2（前期差33.8ポイント上昇）と大きく改善が見られる。

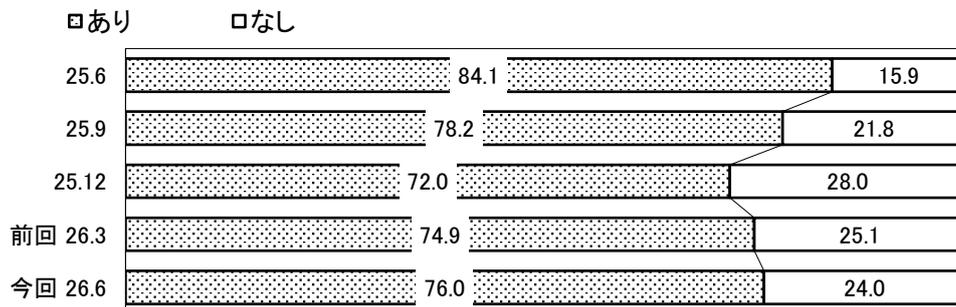
一方、輸送用機器では△12.5（前期差7.7ポイント低下）と悪化し、「赤字」と回答した企業は25.0%を占める。

また、樹脂製品では「黒字」が減少、「赤字」が増加と悪化傾向にあるものの、他の業種と比較しても「赤字」企業は極端に少ない。

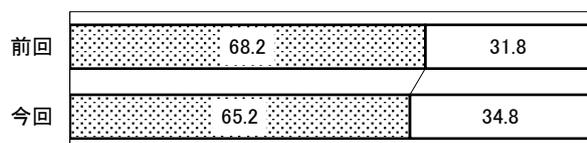
(6) 受注余力について

(%)

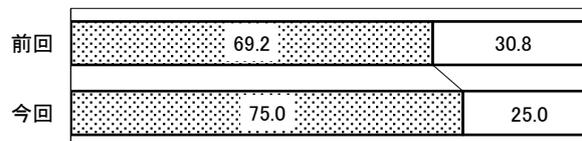
①全体



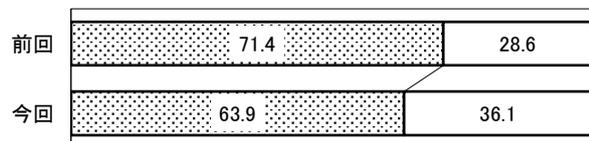
②鉄鋼・非鉄



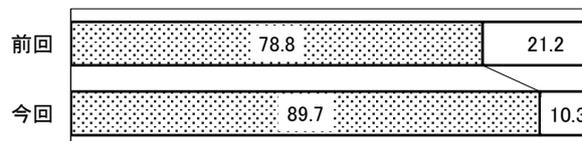
③金属製品



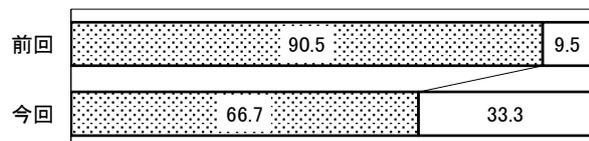
④一般機器



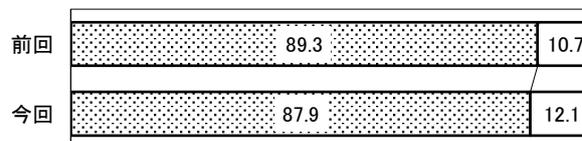
⑤電気機器



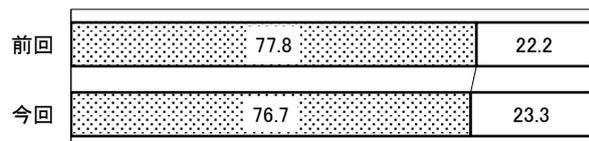
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

「受注余力あり」とする企業は、76.0%と前期に比べて1.1ポイント増えている。

○業種別

前回「受注余力あり」とする企業が9割を超えた輸送用機器は、今回66.7%に減少。電気機器、精密機器では9割近くが「受注余力あり」としている。



公益財団法人 京都産業21

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134
(京都府産業支援センター内)

TEL (075) 315-9234 FAX (075) 315-9240

E-mail: office@ki21.jp

U R L : <http://www.ki21.jp>